



MOBILE SPACE FRONTIER®



## 第44期 中間報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

 三協フロンティア株式会社

JASDAQ  
証券コード 9639

## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第44期（平成24年4月1日～平成24年9月30日）  
中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の復興需要により公共投資が増加するなど内需を中心に国内景気は底堅く推移しておりますが、欧州債務問題や中国経済の減速など海外市場の不確実な影響を受け、依然として先行き不透明な状態にあります。

このような状況の中、当社は前年に引き続き、仮設現場事務所や仮設店舗、仮設宿舍など、被災地の需要に優先的に対応するとともに、展示場の新規出店を引き続き強化するなど販売チャネルの拡充に努めてまいりました。また、生

産能力の増強を図り、全国的なレンタル・販売の需要増に対応すべく努めてまいりました。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する——当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場・不動産市場においてもその優位性を十分発揮できるものと確信しております。“建築の工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱をもって活動してまいります。

### 当事業年度（平成24年4月1日～平成24年9月30日）の業績について

各事業の概況について、ご報告いたします。

ユニットハウスのレンタルにおいては、震災復興需要が旺盛な東北地域のみならず、他地域においても出荷は好調に推移しました。また、電気配線および電気設備をユニットハウスと一体化しリユース可能にした配電システムを開発し、平成23年度に開発したエアコンシステムとともに本格的に市場へ導入することにより、付帯工事の受注獲得に努めました。トランクルームにおいては、新たに24店舗を出店するなど売上拡充に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間のレンタル料収入は6,672百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

ユニットハウスの販売においては、当社直営の展示場を12店舗出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、オフィスや店舗など本建築物件の受注に注力いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の製品売上高は4,940百万円（前年同期比39.3%減）となりました。

その他の事業については、当第2四半期連結累計期間の売上高は76百万円（前年同期比5.0%減）となりました。上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,688百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

なお、前年実績に東日本大震災の仮設住宅建設の売上高が含まれているため、前年同期比は減少となっておりますが、期首の計画を上回る結果となりました。

利益面においては、営業利益1,695百万円（前年同期比46.8%減）、経常利益1,787百万円（前年同期比43.7%減）、四半期純利益1,040百万円（前年同期比37.9%減）になりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓していくことで業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 **長妻貴嗣**

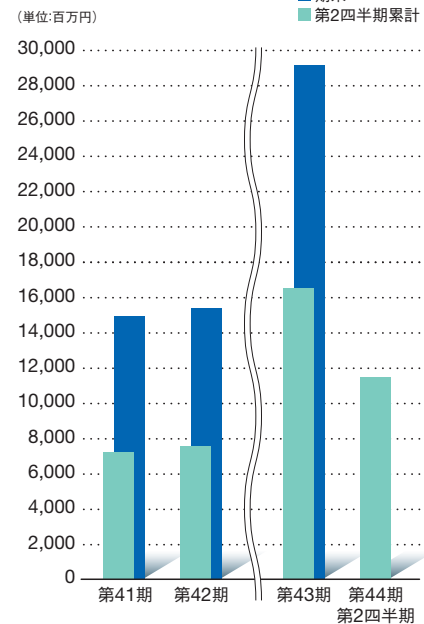


## 業績ハイライト

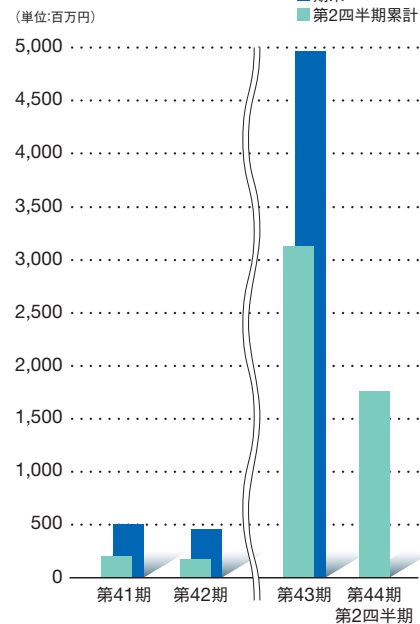
区分 \ 期別	第41期 (平成22年3月期)	第42期 (平成23年3月期)	第43期第2四半期 (平成24年3月期)	第43期 (平成24年3月期)	第44期第2四半期 (平成25年3月期)
売上高(百万円)	14,916	15,381	16,457	29,234	11,688
経常利益(百万円)	506	454	3,175	4,907	1,787
当期純利益(百万円)	209	170	1,675	2,469	1,040
1株当たり当期純利益(円)	9.49	7.72	75.91	111.70	46.54
総資産(百万円)	25,801	26,290	32,535	35,312	36,375
純資産(百万円)	16,555	16,531	18,087	18,717	19,317

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

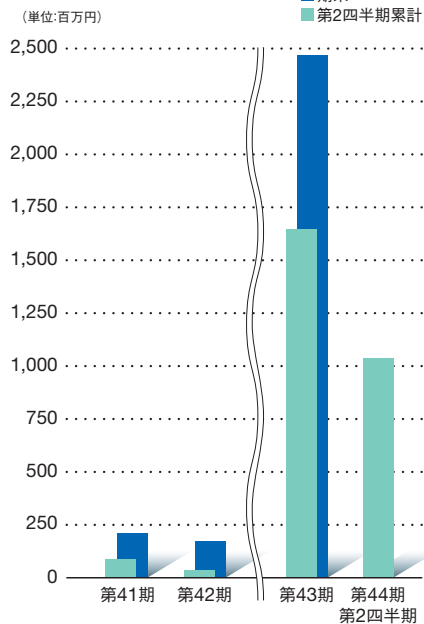
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 当期純利益の推移



免責条項  
本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 各事業の概況

### ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。  
建設現場からイベント、仮設住宅まで、  
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、震災復興需要が旺盛な東北地域のみならず他地域においても出荷は好調に推移しました。また、エアコンや電気工事など設備の付帯工事の獲得を強化するなど受注単価の向上に努めました。その結果、今期のレンタル料収入は6,672百万円(前年同期比19.1%減)になりました。

今後とも、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客への営業を強化していきます。



建設現場事務所



イベント施設

### ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など  
全国のさまざまなシーンで  
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図りました。また、展示場・トラックルーム100店舗同時達成感謝セールや決算セールを実施するなど、店舗の販売力向上に努めました。その結果、販売収入は4,940百万円(前年同期比39.3%減)となりました。

今後とも市場ニーズに合わせた製品の開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大に努めていきます。



事務所



ベーカリーショップ

## Topic 1 新たな設備機能付きユニットハウスを発売

当社はユニットハウスを通して最適な空間をお客様に提供することを目指しています。今期は、電気設備や宿泊設備などを組み込んだ新たなユニットハウスを開発し、レンタルを開始しました。

### 配電システムの開発

今期、配電盤や配線などの電気設備を組み込みリユース可能にした配電システム付きユニットハウスを開発しました。パネルに配電盤が付いており、ユニットハウス内に配線が装備されているため見た目もすっきりしています。配線などは工場で組み込むため、現場施工期間は短く、安全に作業ができるので、お客様にも好評をいただいています。



配電盤外側

配電盤内側

天井配線

### 宿舍ユニットのレンタル開始

現在、東北地域において復興関連工事の本格化により宿泊施設のニーズが高まっています。当社では、室内に宿泊設備を装備した宿舍ユニットのレンタルを開始しました。ユニットハウスは工場生産するため工期短縮でき、移設も可能であることから今後の展開が期待できます。



廊下

居室

シャワー室



宿舍の外観

#### 2012年上期 第2種電気工事士試験に110名が合格

配電システムの本格導入に伴い、従業員が専門知識を習得できるよう従業員教育にも力を入れています。その一環として、今期は第2種電気工事士試験に全社的に取り組み、上期は110名が合格しました。下期についても受験しており、今期末には全社で資格取得者150名を目標にしています。今後もユニットハウスの付加価値向上を目指すとともに、従業員の能力向上に努めていきます。

## Topic 2 今期、新たに36店舗をオープン

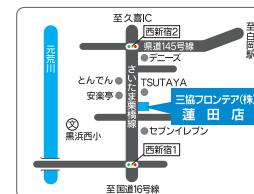
当社は、ユニットハウスを販売する展示場およびトランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国展開しています。今期新たにオープンした36店舗の中から蓮田店を紹介します。

### 蓮田店

2009年11月に県道3号線(さいたま栗橋線)沿いにオープンして以来地域の皆様にご好評いただいていた蓮田店が、2012年7月、同じ県道3号線沿い300m程大宮寄りに移転しリニューアルオープンしました。

事務所はスタイリッシュな当社のユニットハウスQuoの2階建てで、モデルルームとしてもご見学いただけます。これまでの2倍以上の敷地にはミニハウスから連棟ハウスまで多くの製品を展示し、お客様の幅広いニーズに対応できる店舗となりました。

2013年3月には旧店舗跡地に屋内型・屋外型併設のトランクルームU-SPACE蓮田西新宿店がオープンする予定です。今後も地域の皆様のさらなるニーズにお応えしていきます。



蓮田店: TEL 048-765-0611



蓮田店



事務所内

## Topic 3 商談スペースの有効活用～本社～

今年4月、本社の商談スペースをリニューアルしました。

今期4月、本社(千葉県柏市)の商談スペースを製品PRのショールームも兼ねてリニューアルしました。室内にユニットハウスやトランクルームを設置し、直に当社製品に触れることで、実物がイメージしやすく、細かな部分についても事前に確認ができるため、お客様からもスムーズに商談が進むと好評をいただいています。



# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	第44期第2四半期 (平成24年9月30日)	第43期末 (平成24年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,684,393</b>	<b>12,658,504</b>
現金及び預金	2,434,280	5,337,993
受取手形	1,054,828	884,332
営業未収入金	3,130,077	2,621,058
売掛金	1,290,440	1,202,079
棚卸資産	2,085,039	1,928,738
その他	730,734	723,576
貸倒引当金	△ 41,006	△ 39,274
<b>固定資産</b>	<b>25,691,371</b>	<b>22,653,695</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,813,307</b>	<b>21,815,317</b>
レンタル資産	13,404,664	11,247,041
建物	1,609,783	1,288,495
土地	8,169,638	8,169,638
その他	1,629,220	1,110,142
<b>無形固定資産</b>	<b>191,804</b>	<b>184,664</b>
投資その他の資産	686,259	653,713
<b>資産合計</b>	<b>36,375,764</b>	<b>35,312,200</b>

(単位:千円)

	第44期第2四半期 (平成24年9月30日)	第43期末 (平成24年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>13,847,429</b>	<b>13,245,161</b>
支払手形	311,653	353,927
買掛金	4,393,362	4,459,664
短期借入金	4,058,000	1,558,000
未払費用	1,923,323	2,075,103
未払法人税等	728,795	2,412,678
賞与引当金	326,393	333,053
その他	2,105,902	2,052,733
<b>固定負債</b>	<b>3,210,451</b>	<b>3,349,740</b>
長期借入金	2,300,000	2,504,000
退職給付引当金	481,969	447,774
役員退職慰労引当金	173,216	168,091
その他	255,265	229,874
<b>負債合計</b>	<b>17,057,881</b>	<b>16,594,901</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>19,348,108</b>	<b>18,743,850</b>
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,775,491
利益剰余金	15,333,027	14,656,166
自己株式	△ 307,032	△ 233,256
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 30,224</b>	<b>△ 32,791</b>
その他有価証券評価差額金	△ 1,668	77
為替換算調整勘定	△ 28,536	△ 32,868
新株予約権	—	6,240
<b>純資産合計</b>	<b>19,317,883</b>	<b>18,717,299</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>36,375,764</b>	<b>35,312,200</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>11,688,227</b>	<b>16,457,720</b>
<b>売上原価</b>	<b>6,800,274</b>	<b>10,107,411</b>
<b>売上総利益</b>	<b>4,887,953</b>	<b>6,350,309</b>
販売費及び一般管理費	3,192,425	3,166,026
<b>営業利益</b>	<b>1,695,528</b>	<b>3,184,282</b>
営業外収益	152,570	39,428
営業外費用	60,549	47,764
<b>経常利益</b>	<b>1,787,549</b>	<b>3,175,946</b>
特別利益	5,980	—
特別損失	10,505	40,082
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>1,783,024</b>	<b>3,135,863</b>
法人税等	742,109	1,460,294
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>1,040,915</b>	<b>1,675,569</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,040,915</b>	<b>1,675,569</b>

## 四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>1,040,915</b>	<b>1,675,569</b>
<b>その他の包括利益</b>	<b>2,566</b>	<b>2,648</b>
<b>四半期包括利益</b>	<b>1,043,482</b>	<b>1,678,218</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	第44期第2四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 4,083,510</b>	<b>3,381,904</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 633,204</b>	<b>△ 163,293</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,813,160</b>	<b>△ 946,512</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 158	429
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 2,903,713</b>	<b>2,272,527</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,157,993	1,318,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,254,280	3,591,021



## 企業の概要 (平成24年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	石原 幸夫
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号  
 一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

## 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,263名 (平成24年3月末比51名増)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
個人株主	358	1.53
三協フロンテア従業員持株会	329	1.41
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	200	0.86
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70

※当社は自己株式を1,122千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

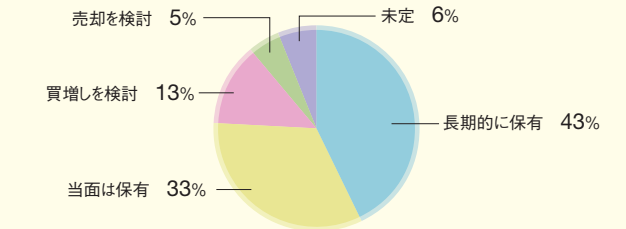
### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成22年4月1日付のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場されております。

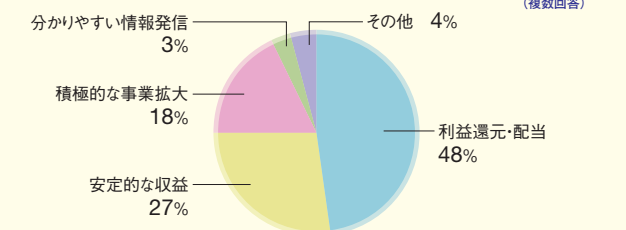
## アンケート結果のご報告

「第43期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。148名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

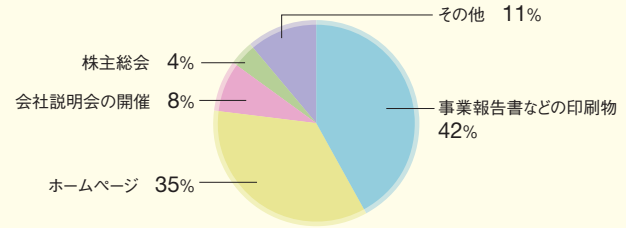
### Q1 今後の当社の株式保有についてお聞かせください。(複数回答)



### Q2 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。(複数回答)



### Q3 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせください。(複数回答)



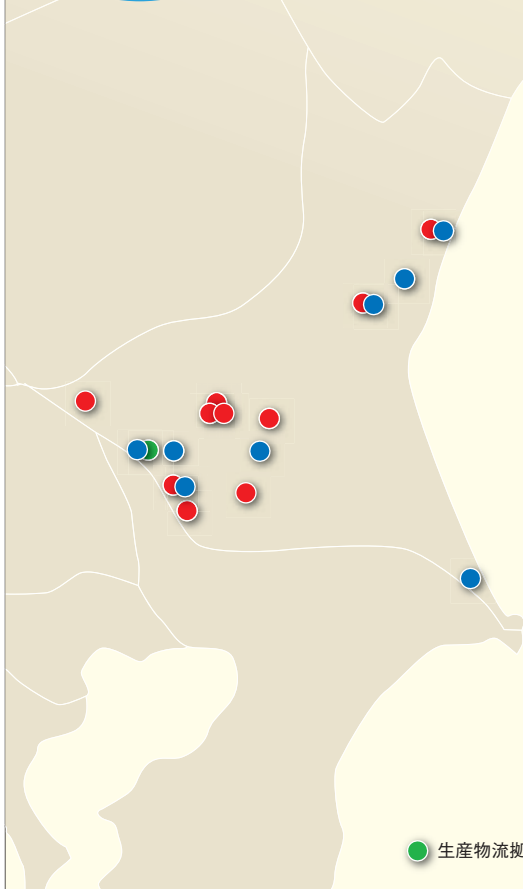
## 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>



茨城県は、本社(千葉県柏市)にも近く、関東の生産物流拠点でもある茨城事業所があり、供給体制から見ても好立地です。数年前から出店を強化し、店舗網の拡充を図ってきました。当社は茨城県内に営業拠点として展示場を8店舗、トランクルームを10店舗有しています。特に土浦地区については当社のモデル地域として注力しており、展示場の周りにトランクルームを出店し地域全体で収益力向上を目指しています。今期は水戸出張所を移転し、北部地域の強化を図りました。今後とも収益力向上を目指し、地域密着型の店舗運営に努めていきます。



土浦出張所



水戸出張所



U-SPACE筑波大学前店



茨城事業所

● 生産物流拠点 ● 営業拠点 ● トランクルーム